

波多江 祐介

ゆうすけ

県土整備委員会 副委員長 拝命
 県土整備委員会は、公共用地取得の推進、道路整備事業、河川改修及び河川総合開発の促進、海岸・港湾整備事業、急傾斜地の崩壊防止などについて審査及び調査を行っています。

※毎年春に行っておりました「県政報告会」は、文化会館設備更新工事に伴い延期させていただきます。現在秋頃に開催を予定しております。

県政
報告紙
2026
令和8年3月
第3号

はたえ新聞

【写真】一般質問の様子

日頃より、皆様には温かいご支援と力強いご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。令和五年四月に初当選させていただき、まもなく三年を迎えようとしております。この間、皆様からのご期待とご声援に支えられ、今日まで活動を続けていくことができたことに、改めて深く感謝申し上げます。

私は二十九歳で政治の道を志し、市議会議員として二期八年にわたり地域の様々な課題に向き合ってきました。その経験を礎に、県政の場においても、現場の声を大切にしながら、ひとつひとつの課題に真摯に向き合っております。

当選後、昨年度までの二年間は自民党県議団の政策審議会事務局長を拝命し、政策立案や代表質問を通じて県政への提言などに携わってまいりました。県全体の将来を見据えた議論に関わる中で、その責任の重さを実感するとともに、大変貴重な経験を積ませていただきました。

その間、議会対応や公務が重なり、地元行事などに十分参加できないこともありましたが、皆様の温かいご理解とご支援のおかげで、与えられた責務を果たすことができましたことに、心より感謝申し上げます。

現在は、県土整備常任委員会の副委員長を拝命しております。道路、河川、砂防、港湾といった社会基盤の整備・維持管理をはじめ、安全・安心な暮らしを支えるための重要な役割を担っております。また、国土強靱化の推進により、自然災害から県民の命と暮らしを守り、被害の最小化と迅速な復旧・復興に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

今後とも「ふるさと筑紫野市と福岡県の懸け橋」としての使命を胸に、現場主義を大切にしながら、地域の発展と県政の前進のため全力で取り組んでまいります。

引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



筑紫野インター線 掘削作業中



筑紫野インター線現地視察



西小田橋整備



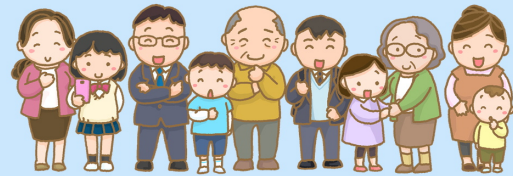
那珂川護岸整備



県下出先土木整備事務所訪問

令和8年度当初予算は 一般会計約2兆3,000億円

過去最大



1 生活を守る

家計負担を軽減し、安心して暮らせる環境へ



子育て・家計支援

- 学校給食費支援
- 物価高対策の充実

153億円

2 経済を伸ばす

地域経済の成長と賃上げを後押し



中小企業支援

- 賃上げ・設備投資支援

補助 最大3/4



産業強化

- サプライチェーン対策

5.5億円

3 安全・安心の確保

災害に強いまちづくり



公共事業

2,224億円

- 防災・減災対策
- インフラ老朽化対策

4 財政の健全化

無駄を削減し持続可能な財政へ



見直し効果

- 事業費
- 一般財源

▲244億円

▲58億円

「県民生活を守りながら、
未来への投資も進める予算」

生徒の健康を守る！県立高校にエアコンを整備

22億8,639万円 [2月補正] 4億1,825万円

(生徒の健康を守る県立高校エアコン整備費)

- ・生徒の健康を守り、災害時における避難所環境の改善を図るため、体育館等へのエアコン設置のための設計及び工事を実施

【整備計画】

	総整備費		整 備 数						完了時期
			R8	R9	R10	R11	R12	R13	
体育館	213億円	95校	25校	34校	36校				R10
特別教室 食堂・厨房	160億円	1,663室	0室※	44室	111室	713室	650室	145室	R13
計	373億円								

※特別教室、食堂・厨房については、設計を実施

体育館には、風や音が少ない
ことで競技の妨げにならず、
必要な空間のみの室温調整が
可能で省エネ性能にも優れた
輻射パネル併用方式を採用



＜輻射パネル × パッケージエアコン＞

「物価高対応福岡県子育て応援金」を給付

[2月補正] 86億9,511万円

(物価高対応福岡県子育て応援金)

- ・子育て世帯にこども1人あたり1万円を給付

水素グリーン成長戦略を推進

2億2,269万円

(水素グリーン成長戦略推進費)

- ・ディーゼルエンジンからコンバージョン※した水素エンジントラックの導入を支援
- ・九州大学、久留米高専と連携し、中高生を対象とした水素分野の人材育成プログラムを実施

※ベースとなる車両に加える付加価値のある改造



＜水素エンジントラック＞

「まもるくん」の機能を強化

2,896万円

(まもるくん機能強化費)

- ・災害に備えた防災学習情報や災害時の支援情報を閲覧できる機能を追加
- ・防災情報を簡単に検索できるAIチャットボット機能を追加
- ・防災情報を取得できるエリアを最大5エリアから県内全域へ拡大

地震や大雨の情報がわかる！

福岡県防災アプリ



防災情報は生活必需品！

防災ナビ
まもるくん

■産業廃棄物の不適正処理への対応について

質問

戦後、日本では産業廃棄物の不適正処理が問題化。筑紫野市の処分場では死亡事故が発生し、現在も廃棄物が残存。嘉麻市でも火災後に大量の廃棄物が放置され、住民の不安が続いている。県の監視強化やドローン導入の効果を踏まえ、今後の対応や再発防止、DX活用

による監視体制強化について知事の見解を問う。

答弁

嘉麻市の産業廃棄物が未撤去のため、県は行政代執行で処理（キャッピング）を実施し、安全確保を図る。費用は業者に請求。また、ドローン等を活用して監視を強化し、不適正処理には厳しく対応していく。

■猛暑による恒例・慣例行事への対応について

質問

近年、猛暑が深刻化し、太宰府市では猛暑日が62日と国内最多を記録した。これに伴い熱中症による救急搬送も増加し、令和6年には過去最多となっている。学校行事や地域活動も短縮や中止など影響を受けており、屋外イベントでは十分な熱中症対策が求められる。また、熱中症警戒アラートや特別警戒アラートの活用促進に加え、クーリングシェルの

指定拡充と県民への周知を進めることが、命を守るために重要である。

答弁

消防操法大会では熱中症対策を強化し、安全な運営と参加環境の確保を進める。また、クーリングシェルの整備・周知も拡充する。



■鳥獣被害対策について

質問

県ではイノシシや鹿、鳥類による農林水産物被害が課題となっており、近年は全国的に熊による人的被害も増加しています。鳥獣害対策として侵入防止柵の整備が進み効果を上げてきましたが、耐用年数の経過により老朽化が進み、更新需要が増加しています。国の交付金に依存する中、今後の十分な予算確保が懸念されており、県の取組状況や柵の設置・

更新対応について見解を求めています。

答弁

鳥獣被害対策として、防護柵整備や捕獲支援、ジビエ活用を推進。広域捕獲や出没情報の見える化で効率化する一方、老朽化した柵の更新や資材高騰に伴う予算確保が課題。国へ予算の拡充についても要望する。



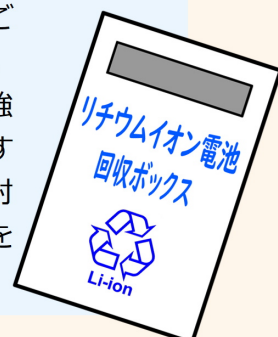
■リチウムイオン電池等の安全な処分について

質問

スマホ普及に伴いモバイルバッテリー等のリチウムイオン電池製品が増加し、不適切な廃棄によりごみ処理中の火災が全国で増えている。分別の難しさや海外製品の増加も課題であり、施設停止など社会への影響も懸念される。県として市町村と連携し、啓発や回収体制の強化など安全対策を進める必要がある。

答弁

リチウムイオン電池混入によるごみ処理施設火災が増加している。県は危険性や分別方法の周知を強化し、回収場所を地図で可視化する。市町村には発火防止や消火対策の事例共有と国の交付金活用を促し、安全対策を進める。



令和7年9月議会 令和6年度決算特別委員会での発言

○小中学校における確かな学力の育成について

本県の学力は全国平均水準まで改善した一方、「地区間格差の解消」と「非認知能力を含めたバランスある育成」が大きな課題。



令和7年2月議会 令和8年度予算特別委員会での発言

○既存住宅流通促進について

住宅価格高騰と空き家増加を背景に、「中古住宅活用（リノベ補助）」と「空き家流通促進（新規事業）」を両輪とし、子育て世帯の住宅取得支援と地方定住を進める取組が重要。

○投票所環境について

猛暑下の選挙における安全確保と投票環境の改善が課題であり、特に「冷房未整備の投票所対策」と「期日前投票の拡充」が重要。

○放課後児童クラブの待機児童解消について

放課後児童クラブは利用増により待機児童が増加しており、「受け皿確保（施設）」と「人材確保」を柱に、事前対応も含めた対策強化が必要。

○移住・定住の促進について

移住・定住施策は成果が出ている一方、「福岡都市圏への一極集中の是正」と「情報発信の質向上」が今後の最大の課題。

○野生鳥獣の獣肉の有効活用について

野生鳥獣被害は増加しており、ジビエ利用は伸び悩む中、「ペットフード活用」を新たな柱として、捕獲から利活用までの一体的な仕組み構築が重要。



厚生労働大臣政務官 栗原渉衆議院議員



海外福岡県人会



陸上自衛隊 幹部候補生学校

【免責事項】本紙は私が得た各種資料や調査結果をもとに作成しております。細心の注意を払っておりますが、情報に誤りや表現に不適切な点がございました場合は事務所までご連絡ください。

Profile 昭和60年10月26日 福岡県筑紫野市生まれ

職歴

平成17年～ 福岡県立久留米筑水高校勤務
平成18年～ 福岡県立福岡農業高校勤務
平成26年～ オフィス通信関連企業勤務
平成27年～ 筑紫野市議会議員（2期）
総務委員長など
令和 5年～ 福岡県議会議員（初当選）

所属委員会など

県土整備常任委員会 副委員長
国際化・多文化共生社会調査特別委員会 委員
福岡県防衛議員連盟 幹事
オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 幹事長
福岡県地域公共交通事業振興議員連盟 事務局長
福岡県河川協会 理事
福岡県県営住宅管理審議会 委員
福岡県交通対策協議会 委員 など

自民党所属など

自由民主党福岡県連合会 組織副委員長
青年局 学生部担当
自由民主党福岡5選挙区支部 副幹事長
自民党筑紫野市支部 支部長

諸団体所属

筑紫野市商工会青年部
筑紫野市消防団 団員
（一社）つくし青年会議所 外部監事
" シニアクラブ 学年幹事
筑紫野市倫理法人会 顧問
つくしライオンズクラブ
筑紫野市野球連盟 名誉会長 など

福岡県議会議員（筑紫野市選出）

ゆうすけ
はたえ 祐介

—どなた様もお気軽にお立ち寄り下さい—

〒818-0066 福岡県筑紫野市永岡543

TEL 092-555-4336 / FAX 092-555-4337

Email : info@hatae.net

Click!! はたえ 祐介

